



山本 2連覇

2年連続4回目の優勝

フリースタイル 125kg 級に出場した山本泰輝 2 等陸曹は、初戦（単々決勝）を試合時間わずか 40 秒で 10-0 のテクニカルフォール（規定の得点差による勝利。フリースタイルでは 10 ポイント差）によって勝利し、好発進をきった。準決勝も 3-0 と相手にポイントを与えず、決勝進出を決めた。2 連覇をかけて臨んだ決勝の相手は二ノ宮寛斗選手（不二精機）。山本 2 曹は序盤から積極的に攻撃し、二ノ宮選手に指導（攻撃に消極的）が入った。フリースタイルでは指導を 2 回受けると 30 秒間のアクティビティタイムが設けられ、互いに得点がない場合は相手に 1 ポイントが加算される。山本 2 曹は 2 ポイントを先取し優勢となったが、試合終了 58 秒前に 2 ポイントを取り返され劣勢に。しかし山本 2 曹は果敢な攻めにより場外の 1 ポイントを獲得してすぐさま逆転した。このポイントを守りきった山本 2 曹が、ポイント 3-2 の接戦を見事制し、2 年連続通算 4 度目の優勝を果たした。

山本 2 曹は「決勝では自分の持ち味であるタックルを封じられ、自分のレスリングができず悔しい。ライバルと呼んでいいかわからないが、強豪選手たちが引退して今回は圧倒的な強さで勝たなければいけないと思い、これまで以上に追い込んで練習してきた。今日の試合内容ではもっと追い込まなくてはならない。」と試合を振り返った。

大会 3 日目、フリースタイル 74kg 級に出場した高谷大地 2 等陸尉は初戦（単々決勝）を試合開始 1 分 49 秒でポイント 13-1 のテクニカルフォールにより勝利し、準決勝に進んだ。準決勝の相手は 5 月の明治杯で惜敗した 2021 世界選手権代表の佐藤匡記選手（山梨学院大学）。序盤から積極的に攻めた高谷 2 尉がポイントを重ね、ポイント 4-1 で決勝進出を決めた。迎えた決勝は、昨年の天皇杯決勝で敗戦を喫した木下貴輪選手（クリナップ）との一戦。熾烈な攻防戦で苦戦を強いられ、ポイント 2-2 と同点ながらも相手が優勢に。しかし試合時間残り 10 秒をきったところで、高谷 2 尉の渾身のタックルで 4 ポイントの大技を決め、残り時間 1 秒 68 での大逆転で 4 年ぶり 2 度目（74kg 級では初）の優勝を飾った。

高谷 2 尉は「もう無理かと諦めかけたが、いくしかないという覚悟を決めた。死ぬ気で自分が一番磨き上げてきたタックルで攻めて、1 ポイントでも取れば勝てるのだからと思った。積み重ねてきたものを出すことができ、自分に勝てたかなと思えた。今後は自分の波をいかに小さくしていけるか、大きな大会でも練習通りの動きができるかを課題にし、練習していこうと思う。」と語った。



高谷 2階級制覇

4年ぶり2階級通算2度目の優勝



鶴田 初優勝

97kg 級初出場が無失点の初優勝

10 月に行われた世界選手権にグレコローマンスタイル 87kg 級の代表として出場した鶴田峻大 3 等陸曹は、97kg 級として初めて大会に出場した。10kg の階級変更を物ともせず、初戦（単々決勝）を試合開始 2 分 20 秒でポイント 8-0 のテクニカルフォールで勝ち上がると、準決勝も昨年王者を相手に 4-0 で勝利し、危なげなく決勝戦へ駒を進めた。迎えた決勝の相手は、仲里優力選手（日本体育大学）。試合が開始されると鶴田 3 曹は猛攻し、仲里選手を圧倒。仲里選手に最初の指導（攻撃に消極的）が入り、1 ポイントを獲得。さらに指導により 1 ポイントを加えたが、鶴田 3 曹にも指導が入り不利な体勢に。何度も技をかけられながらも守りを固めポイントを許さず、逆に仲里選手が技をかけてきた瞬間に体勢を逆転し、2 ポイント技を 2 つ決め 4 ポイントを獲得した。最後まで攻めの姿勢を崩さなかった鶴田 3 曹がポイント 6-0 で勝利し、3 試合全てで失点なしの完封勝利で初優勝に輝いた。

鶴田 3 曹は「階級を変更したのは、体を大きくしたかったということと 97kg 級で体育学校から出場していた先輩が抜けたため。87kg 級でたくさん同門対決をするより、1 つでも多くの階級で優勝して体育学校のレスリングを盛り上げたいと思った。体づくりはまだできておらず未完成。筋力を増やし、もっと体の大きな選手とも闘えるようになっていきたい。初めてのアジア競技大会では『やってやる』という気持ちが湧き上がってきている。ガツガツ攻めるレスリングに加え得点能力を強化していきたい。」と意欲をみせた。

東京五輪レスリング競技日本代表選手が集結

大会最終日に「東京オリンピック大会レスリング報告セレモニー」が行われた。

自衛隊体育学校からはフリースタイル 65kg 級金メダリストの乙黒拓斗 2 等陸曹と同 74kg 級代表の乙黒圭祐 3 等陸尉が参加した。それぞれたくさんの応援に感謝を述べ、乙黒 2 曹は「皆さんからの応援のおかげで金メダルを獲得することができた。」と話し、乙黒 3 尉は「負けてしまったが、東京五輪の時が人生で一番強かったと思う。これからも応援と厳しい応援もよろしくお願いします。」と締めくくった。



総合成績（メダリストのみ）

フリースタイル

- 🥇 **優勝** 74kg 高谷大地 2 等陸尉（京都府）
- 🥇 **優勝** 125kg 山本泰輝 2 等陸曹（静岡県）
- 🥉 **第 3 位** 79kg 村山貴裕 3 等陸曹（青森県）

グレコローマンスタイル

- 🥇 **優勝** 77kg 櫻庭功大 2 等陸曹（秋田県）
- 🥇 **優勝** 87kg 角 雅人 3 等陸曹（佐賀県）
- 🥇 **優勝** 97kg 鶴田峻大 3 等陸曹（長崎県）
- 🥈 **第 2 位** 87kg 阪部 創 2 等陸曹（和歌山県）
- 🥉 **第 3 位** 82kg 川村洋史 3 等陸曹（静岡県）
- 🥉 **第 3 位** 87kg 向井颯起 陸士長（広島県）

女子フリースタイル

- 🥈 **第 2 位** 59kg 徳原姫花 1 等陸士（高知県）
- 🥉 **第 3 位** 53kg 奥野春菜 2 等陸曹（三重県）
- 🥉 **第 3 位** 65kg 今井海優 3 等陸曹（京都府）
- 🥉 **第 3 位** 68kg 古市雅子 3 等陸尉（熊本県）

